

全世界を震撼させた—今世紀最大の探偵物語!

REDFORD/HOFFMAN "ALL THE PRESIDENT'S MEN"



ロバート・レッドフォード/ダスティン・ホフマン

# 大統領の陰謀

ロバート・レッドフォード/ダスティン・ホフマン(大統領の陰謀)

ジャック・ウォーデン/マーチン・バルサム/ハル・ホルブルック/ジェーン・ロバース(ペン・ブラットリ)

脚色ウィリアム・ゴールドマン/原作カール・バーンスタイン/ボブ・ウッドワード/音楽デビット・ジャイア/製作ウォルター・コブレンツ/監督アラン・J・パクラ

ワイルドウッド・エンタープライゼス・プロダクション/ロバート・レッドフォード=アラン・J・パクラ作品/テクニカラー/ワーナー・ブラザーズ映画 From Warner Bros. A Warner Communications Company



**\*かいせつ**

映画史上、この「大統領の陰謀」ほど撮影中はもちろんのこと、早くも撮影開始以前から注目を集め、話題を呼んだ映画はない。

一九七二年六月十七日、ワシントンにあるウォーターゲート・ビルに起った不法侵入事件を発端に、遂に前代未聞の大統領辞任へと発展し、全世界に衝撃を与えたあの「ウォーターゲート事件」の立役者となった、二人の若い新聞記者の活躍を描いたこの映画は、建国二〇〇年に湧きかえるアメリカに、映画界が贈った最高にセンセーショナルなセレモニーとして、全米で空前の大ヒットを記録。今秋行われる大統領選に多大の影響を及ぼすことになるのでは？と戦々恐々の関係者まで出るしまつ。そしてその大ヒットの波は全米にとどまらず、カナダ・イギリスなど世界各地の公開国に及んでいる。

映画は時の政府を相手どつてのスリルとサスペンスにみちたいわば探偵映画と言える。これ以上巨大な力と権力を持つた相手と対決した探偵映画はかつてない。彼らの武器はペンと正義と真実……一つ一つ謎を解き明かし、真実を明るみへ引きずり出して行くその姿は、まさしくウォーターゲート（水門）に入った小さな

ヒビが、次第に大きくなり、ついに決壊する姿に似ている。

事件当時、次々に大統領の陰謀をあばき出していくワシントン・ポストの若い二人の記者の行動に興味を持ったロバート・レッドフォードは、彼らに会い、彼らの活躍を映画にしたいので、取材活動の記録を本にまとめあげてみてはどうかともちかけている。いわば、レッドフォードなくしてはこの映画はなかったのである。そして彼らの本が出版され、爆発的売れ行きを記録するや、レッドフォードは映画化権を得、彼のプロダクションであるワイルドウッド・エンタープライゼズを通して映画製作が進められた。

監督は「アラバマ物語」「下り階段をのぼれ」などの名プロデューサーとしても名高いアラン・J・パクラ。彼の監督作品は「コールガール」「バララックス・ビユー」などに続いてこれが五本目。脚色が「明日に向って撃て！」「華麗なるヒコ一キ野郎」のウイリアム・ゴールドマン。撮影が「ゴッドファーザー」(二部作)「新・動く標的」のゴードン・ウイリス。音楽が「ヒンデンブルグ」のデビッド・シヤリア。編集が「ワイルドバンチ」「風とライオン」のロバート・ウォルフと、ハリウッドの超一流を描いている。

ブ・ウッドワードに、そして彼もまた映画化権を得ようとしたダスティン・ Hoffmanがカール・バーンスタインに扮し、見事な初共演を見せれば、彼らを囲んで「砂漠の流れ者」「ジョニーは戦場へ行った」のジェーソン・ロバーズ。「オリエント急行殺人事件」「サブウェイ・パニック」のマーチン・バルサム。「十二人の怒れる男」「シヤンプー」のジャック・ウォーデン。「ミッドウェイ」「ダーティハリー2」のハル・ホルブルックなど芸達者な名優が、見事な演技を競っている。

自由の国アメリカなればこそ出来た世紀の超スcoopを、政治色をおさえ、スリルとサスペンスにみちた偉大な探偵映画としてみせた、この娯楽超大作は、映画ファンの期待に応える今年度最高の映画と言つてはばからない大傑作だ。なお、原題の「オール・ザ・プレジデントツ・メン」は有名な童話集マザー・グースの「ハンプティ・ダンプティ」の中の「オール・ザ・キングズ・メン」からつけられたもので、大意は、「王様の家来たちが、右往左往したが、割れた卵はもとに戻りはしない、結局ムダ骨だった」というもので、ここからも映画の内容が計り知れよう。

キャストも、レッドフォード自身がボ

**世紀のスcoopをあばきだした若い2人の記者の正義と行動のドラマに全世界のジャーナリズム界が贈った熱狂的大絶賛!**

見ているうちにグングン引きこまれるミステリー作品。独得の雰囲気、サスペンス、意外性、危険、秘密のメッセージ、意見の衝突、秘密の会合、ヒーローと悪役のからみなど、冷たくてしかも熱いドラマが、クラシックともいえる重厚さで描かれて行く。

**——ロサンゼルス・タイムズ**

新聞および新聞記者を扱った映画の中では、最初にして最高の迫真性をもっている。題材がウォーターゲート事件という黒い霧を追求したものだけに、見る者に訴えるストーリーのパンチ力も申し分ない。レッドフォードとホフマンの押えた演技が、この映画をリアルにし、成功させている。

**——ニューヨーク・タイムズ**

深い感銘を受けた。言論の自由を守るという意味でこの作品は重要であり、それだけにまた、見ごたえのある映画となっている。アラン・パクラ監督の心理的な洞察力には脱帽する。アメリカ映画史に残る作品だ。

**——デイリー・ニューズ**

内心に政治に対する疑惑と恐怖があるせい、か、結末が分かっているのに、まるで探偵スリラーのように画面に吸い込まれてしまう。事件にこだわりすぎ、無味乾燥なドキュメンタリーにしてしまわなかった点で、パクラ監督とレッドフォードの製作態度は賢明だったと思う。彼らは事件の核心を衝きながら、フィクションの特権を充分に生かして、この映画を実にユニークなドラマに仕上げている。

**——ニューヨーク・ポスト**

- 本年度最高のアメリカ映画!
- ABC-TV 最高にドラマチックでサスペンスにみちた推理映画
- CBS-TV もし映画にピューリッツ賞があればまちがいなくこの映画のものだ!
- NBC-TV 史上最高に凄い映画!
- ガネット・ニュースペーパー スリルに富んだ傑作! キャスティングも完璧!
- ビレッジ・ボイス 完璧な……今年度最高の映画!
- CBS-ラジオ ダイナマイト! 最高の娯楽巨篇!
- キュー・マガジン 凄い! これは今年あなたが見るうちで最高に面白い映画!
- ニューズディ 映画も配役も最高の素晴らしさ!
- CBS-TV これは2度見る価値は充分ある傑作だ!
- ニューヨーク・マガジン 名誉ある人々に関する、名誉ある人々による、名誉ある作品
- サタディ・リビュー 驚くべき映画の偉業!
- ボグ誌

**DUSTIN HOFFMAN**



**ダスティン・ホフマン**  
(カール・バーンスタイン)

ワシントン・ポスト首都部の記者。16歳でワシントン・スター紙のコピーボーイとして新聞界に入り、以降19才でフルタイム紙の記者、1966年以降はポスト紙の記者となつている。文章の表現力はかなりのもの。

**ROBERT REDFORD**



**ロバート・レッドフォード**  
(ボブ・ウッドワード)

ワシントン・ポスト首都部の記者。エール大学卒業。海軍将校を退役し、ポスト紙に入社したエリート。事件当時9カ月のかげだし記者で文章もあまりうまくはなかつたが行動力は抜群である。

**8月7日(土) 衝撃のロードショー**

**丸の内 ピカデリー (201) 2881**

**新宿 ピカデリー (352) 1771**

国電有楽町・地下鉄銀座下車/朝日新聞社裏 紀伊国屋ビルウラ

◆グループ鑑賞のお申込みは各劇場又は松竹レジャー・エージェンシー (541)8143まで

連日	11:30	2:00	4:40	7:20
----	-------	------	------	------